

10才まで
で一生が
決まる

フィンランド式 わくわく子育て特別レッスン

5つのNG言葉かけ集 水橋 史希子

フィンランド エデュケーション協会

Copyright ©Finland education association All Rights Reserved.

願いは地球平和

地球の未来を創る日本の子どもたちを

サポートする100年計画の一步です！

子どもたちの可能性を伸ばすためにわたしたち大人も一緒に学び
合いましょう(^^♪



フィンランドでは
学ぶことを楽しめるように
大人たちが勇気づけた結果
成績が世界トップクラスになりました。
「～しなさい」という言葉は使いません。



AIや新技術が開発されるこれからの時代を
生き抜く子どもたちに必要なチカラは3つ

自主性

自己肯定感

コミュニケーション力

本来子どもたちがもっているこれらの才能＝力を子育て中につぶしてしまっている可能性があります。

お母さんの日ごろからの言葉かけが子どもの一生に影響することがわかっています。

特に気をつけてほしい5つの言葉かけと、代わりにどのように関わればいいのかをお伝えします。

フィンランド式子育てレッスン 5つのNG言葉かけ

1 「やめなさい!」「ダメ!」

この言葉を使っていいのはケガや命に係わるような危険性がある時だけです。

叱るとき、ルールを守らせるときは子どもにわかるようにていねいに理由を説明しましょう。



叱るときは理由を説明する

ダメなものはダメ！では子どもは納得できません。

しかも唯一の味方である親が感情的になって叱ることは子どもの深層心理にネガティブな感覚を残し、将来的に自己肯定感を低くしてしまったり、問題行動につながってしまうのです。

感情的に叱ることがあったとしてもあとで冷静になってから時間をとって丁寧にその理由を説明します。

フィンランド式子育てレッスン 5つのNG言葉かけ

2 「みんなもやってるでしょ」

「どうしてあなただけできないの？」

他の子どもと比較してやらせるのではなく、
その子の気持ちに寄り添ってあげましょう。



フィンランド式子育てレッスン 5つのNG言葉かけ

3 「先に宿題やりなさい！」

「やることをやってから遊びなさい！」

宿題を先にやるのか、遊びを先にするのか
決定権は子どもにあります。

まずは「宿題をしなさい」と言われたいかを
子どもに聞いてみましょう。

どちらを先にするかも、聞いてみます。

そして自分で決めたようにできたら一緒に
喜びましょう(^^♪

子どもにどうやるかを決めさせる 問いかけをしましょう

たとえば、「こういうやり方とこういうやり方があるけど、どうする？」
「ママは、こうしたらうまくいったけど、〇〇くんはどうしたらいいと
思う？」と質問することによって、子どもは自分で「こうする」と
決めることができます。

子どもがどうすればいいのか、わかりやすく答を出してあげてもいいし、
いくつか選択肢を提案して、「どれにする？」と尋ねてみるでもいいでしょ
う。大切なのは、子どもが「こうする！」自主的に答を選ぶことです。女
の子のほうが、自主性が育ちやすいので、ああしなさい、こうしなさい、
ということに反発します。

この問いをしていくことにより、自主性ややる気、集中力が磨かれます。

フィンランド式子育てレッスン 5つのNG言葉かけ

4 「先生に怒られるからやめなさい！」

「みんな見てるわよ。いい加減にして」

どうして静かにしないといけないのか、大人のルールを丁寧に説明します。

いつも言うことを聴かない、などの

問題行動は注目してほしい、つまり「愛情が伝わっていない」というサインです。

フィンランド式子育てレッスン 5つのNG言葉かけ

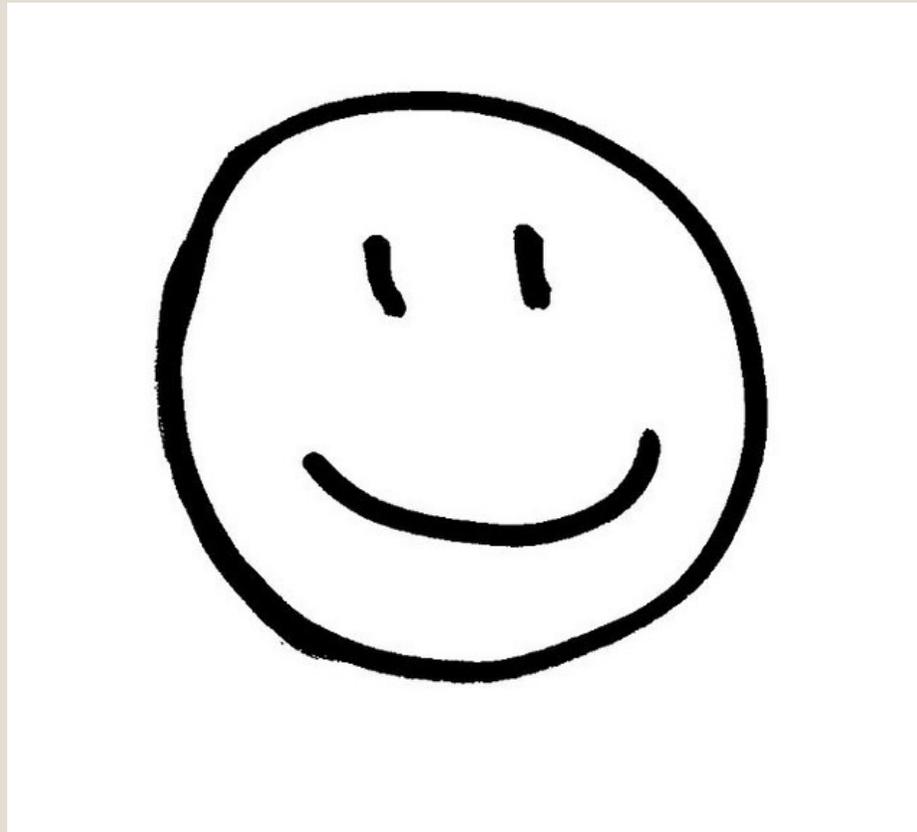
5 「勉強しなさい」 「今勉強しないとあとで大変だよ」

勉強しなさい、という言葉が言われてしたくなる子どもはいません。大変だから勉強するというネガティブな表現はやる気スイッチがなくなります。

勉強する理由の答え方の例は…

「これからは自分が好きなことをしてお金をもらえるようになるんだよ。好きなことを見つけるためにいろいろなことを教えてもらえるなんて最高に楽しいよね。〇〇はどんなことが好き？」

一番大切なことは
笑顔で言葉かけをすることです。



笑顔で接するためには
心のコップに楽しいことや嬉しいこ
とを入れていくことをしましょう。

他でのストレスがたまるとそれを子どもにぶつけてし
まうことはよくあります。

自分の心を状態を意識しておくことが子どもに笑顔で
接するための

大切なポイントです。

子どもたちは笑顔が
大好きです(^^♪



時代とともに教育も進化

親の世代、わたしたちの世代、次世代、21世紀型、と教育は社会的背景の影響を受けます。それはフィンランドも同じです。

ものがない時代は有無を言わず一生懸命仕事をして、自分の意見を持つことは求められませんでした。

でも、ものがあふれた今は、新しいものを生み出すために価値観の違う人たちと対話し、協同する力が求められます。

人口減少が激しくなるこれからは、今までになく、グローバルな視点を求められる時代なのです。

フィンランドは予算の多くを投じ真剣に、未来の子どもたちが自立し、幸せに生きるために国全体で教育改革をし続けています。

何歩も先を行くフィンランドの教育、子育てにヒントを得ながら日本の未来を創る子どもたちをサポートしていきたいと思います。

最後までお読みくださり ありがとうございます

未来を創る日本の子どもたちが
フィンランドのように、

**人と関わりながら学ぶことを楽しみ、
答を覚えるだけでなく、自分で考える習慣を身に付けてほしい。**

**自分の強みを活かし、対人コミュニケーション力を
身に付けながら
たとえ思い通りにいかないことがあっても**

生きることを楽しめるようになってほしいと
心から願います。

フィンランド エデュケーション協会
代表 水橋 史希子

